

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	参事(グリーンベルト整備担当) 杉島 満 (主査 赤曾部 俊則)	内線	4469 (4461)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約17億円
		六甲山系グリーンベルト整備事業 (中尾谷ブロック)	神戸市中央区葺合町 地内	内用地補償費	約9.5億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年度	完成予定 年度
神戸市中央区葺合町 地内			H19	H19	H28
事業目的			事業内容		
<p>六甲山系は、風化花崗岩でできた非常に崩壊しやすい土質であるとともに、兵庫県南部地震により山体のいたるところに緩みを生じており、斜面崩壊やこれに起因する土砂災害が発生しやすい状況にある。</p> <p>本事業は、表六甲の山麓から山腹に至る斜面を公有地化し、砂防樹林帯の整備を中心とした総合的な砂防事業を展開することにより市街地を土砂災害から守るものである。また併せて良好な都市環境の創出、都市のスプロール化防止、広く県民に開放し里山公園的に活用できる場の提供を推進するものである。</p>			<p>全面積(中尾谷ブロック) 27 ha</p> <p>山腹工 14,650 m² えん堤流木対策工 3箇所 樹林整備 24 ha 等</p> <p>[負担割合 国:1/2 ,県:1/2]</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 阪神淡路大震災により地盤の緩んだ六甲山系について山腹崩壊を防止するため砂防樹林帯を整備するものであり、整備により山麓部市街地の土砂災害に対する安全性を高めることができる。 保全対象：家屋431戸、公共施設7箇所(中学校1、高等学校1、その他学校2、幼稚園1、病院1、水道施設1) 				
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> 土木構造物の導入は必要最小限に抑え、樹林が持つ防災機能を活かした整備をするとともに、遊歩道等の整備により広く県民が里山公園的に活用でき、緑豊かな生活環境の創出に資するものである。 				
(2)有効性・効率	<ul style="list-style-type: none"> 土石流対策に関する費用対効果 B / C = 4.8 事業目的が市街地を災害から守るというまちづくりと密接に関連することから、事業区域を「防砂の施設」として都市計画決定している。 地元からの事業着手への要望は強く神戸市の協力体制も整っているため円滑な事業執行が可能である。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 樹林整備を主体として土砂災害防止を目指すものであり、良好な都市環境、風致景観、生態系及び種の多様性の保全、山・川・海に至る水循環の健全化に資するものである。 土木構造物を設置する場合は、極力樹林を保全し、周辺の自然環境や景観に配慮する。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 高密度に都市化された表六甲市街地において土砂崩壊・土石流が発生すれば甚大な被害が想定されるため、当該事業の優先性は高い。 県が実施するグリーンベルト事業箇所の中で未着手箇所3ブロックのうち最も荒廃度が高く優先度が高い。 				